

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【公開番号】特開2005-33784(P2005-33784A)

【公開日】平成17年2月3日(2005.2.3)

【年通号数】公開・登録公報2005-005

【出願番号】特願2004-175315(P2004-175315)

【国際特許分類】

H 04 N 7/14 (2006.01)

G 09 F 9/00 (2006.01)

G 09 F 9/30 (2006.01)

H 04 M 1/02 (2006.01)

【F I】

H 04 N 7/14

G 09 F 9/00 3 6 2

G 09 F 9/30 3 6 5

H 04 M 1/02 A

H 04 M 1/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月26日(2007.4.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

透光性基板に、且つ自発光型画素を配列して形成される表示手段と、前記表示手段の一方の側に備えられた撮像手段とを有し、

前記撮像手段は、前記表示手段を通して被写体の撮像が可能であることを特徴とする撮像機能付き表示装置。

【請求項2】

透光性基板に形成され、一対の透光性電極間に発光性物質を介在させた発光素子を配列して構成される表示手段と、前記表示手段の一方の側に備えられた撮像手段とを有し、

前記撮像手段は、前記表示手段を通して被写体の撮像が可能であることを特徴とする撮像機能付き表示装置。

【請求項3】

一対の電極間に発光物質を介在させ、少なくとも、一方の電極から光を放射することができ、外光を透過可能な発光素子を、透光性基板上に配列して形成された表示手段と、前記表示手段の一方の側に備えられた撮像手段とを有し、

前記撮像手段は、前記表示手段を通して被写体の撮像が可能であることを特徴とする撮像機能付き表示装置。

【請求項4】

請求項2または3において、前記発光性物質は、エレクトロルミネンスを発現する物質であることを特徴とする撮像機能付き表示装置。

【請求項5】

請求項1乃至4のいずれか一項において、前記表示手段の透過率に応じた輝度補正と、前記表示手段からの発光による映り込みを差し引く補正を行う補正手段が、前記撮像手段

に備えられていることを特徴とする撮像機能付き表示装置。

【請求項 6】

透光性基板に、且つ自発光型画素を配列して形成される表示手段と、前記表示手段の一方の側に備えられた撮像手段とを有し、

前記撮像手段は、前記表示手段を通して被写体の撮像が可能であって、通話先の画像を前記表示手段に表示すると同時に、前記被写体を撮像可能であることを特徴とする双方向コミュニケーションシステム。

【請求項 7】

透光性基板に形成され、一対の透光性電極間に発光性物質を介在させた発光素子を配列して構成される表示手段と、前記表示手段の一方の側に備えられた撮像手段とを有し、

前記撮像手段は、前記表示手段を通して被写体の撮像が可能であって、通話先の画像を前記表示手段に表示すると同時に、前記被写体を撮像可能であることを特徴とする双方向コミュニケーションシステム。

【請求項 8】

一対の電極間に発光物質を介在させ、少なくとも、一方の電極から光を放射することができ、外光を透過可能な発光素子を、透光性基板上に配列して形成された表示手段と、前記表示手段の一方の側に備えられた撮像手段とを有し、

前記撮像手段は、前記表示手段を通して被写体の撮像が可能であって、通話先の画像を前記表示手段に表示すると同時に、前記被写体を撮像可能であることを特徴とする双方向コミュニケーションシステム。

【請求項 9】

請求項 7 または 8 において、前記発光性物質は、エレクトロルミネンスを発現する物質であることを特徴とする双方向コミュニケーションシステム。

【請求項 10】

請求項 6 乃至 9 のいずれか一項において、前記表示手段の透過率に応じた輝度補正と、前記表示手段からの発光による映り込みを差し引く補正を行う補正手段が、前記撮像手段に備えられていることを特徴とする双方向コミュニケーションシステム。

【請求項 11】

双方の送受信者が、互いに相手側の画像を表示画面上で視認しながら、有線または無線による通信ができる双方向コミュニケーションシステムであって、

透光性基板に、且つ自発光型画素を配列して形成される表示手段と、前記表示手段の一方の側に備えられた撮像手段とを有し、

前記撮像手段は、前記表示手段を通して被写体の撮像が可能であって、通話先の画像を前記表示手段に表示すると同時に、前記被写体を撮像可能である撮像機能付き表示装置が、少なくとも一方の送受信者側に備えられていることを特徴とする双方向コミュニケーションシステム。

【請求項 12】

双方の送受信者が、互いに相手側の画像を表示画面上で視認しながら、有線または無線による通信ができる双方向コミュニケーションシステムであって、

透光性基板に形成され、一対の透光性電極間に発光性物質を介在させた発光素子を配列して構成される表示手段と、前記表示手段の一方の側に備えられた撮像手段とを有し、

前記撮像手段は、前記表示手段を通して被写体の撮像が可能であって、通話先の画像を前記表示手段に表示すると同時に、前記被写体を撮像可能である撮像機能付き表示装置が、少なくとも一方の送受信者側に備えられていることを特徴とする双方向コミュニケーションシステム。

【請求項 13】

双方の送受信者が、互いに相手側の画像を表示画面上で視認しながら、有線または無線による通信ができる双方向コミュニケーションシステムであって、

一対の電極間に発光物質を介在させ、少なくとも、一方の電極から光を放射することができ、外光を透過可能な発光素子を、透光性基板上に配列して形成された表示手段と、前

記表示手段の一方の側に備えられた撮像手段とを有し、

前記撮像手段は、前記表示手段を通して被写体の撮像が可能であつて、通話先の画像を前記表示手段に表示すると同時に、前記被写体を撮像可能である撮像機能付き表示装置が、少なくとも一方の送受信者側に備えられていることを特徴とする双方向コミュニケーションシステム。

【請求項 1 4】

請求項 1 2 または 1 3 において、前記発光性物質は、エレクトロルミネセンスを発現する物質であることを特徴とする双方向コミュニケーションシステム。

【請求項 1 5】

請求項 1 1 乃至 1 4 のいずれか一項において、前記表示手段の透過率に応じた輝度補正と、前記表示手段からの発光による映り込みを差し引く補正を行う補正手段が、前記撮像手段に備えられていることを特徴とする双方向コミュニケーションシステム。

【請求項 1 6】

請求項 1 1 乃至 1 5 のいずれか一項において、前記表示画面上には、前記被写体の画像と、文字、図形、及び記号を表示可能であることを特徴とする双方向コミュニケーションシステム。